

資料 1

再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会の設置について

平成 29 年 12 月
資源エネルギー庁

2030 年度のエネルギーミックスを着実に達成するためには、再生可能エネルギーをコスト競争力のある主力電源にし、その大量導入を持続可能なものとする必要がある。

世界的には、再生可能エネルギーの導入拡大に伴い発電コストが低減し、コスト競争力のある電源となってきた。一方、我が国においては、2012 年 7 月の FIT 制度導入以降、急速に再生可能エネルギーの導入が進んでいるものの、その発電コストは国際水準と比較して依然高い状況にある。

また、再生可能エネルギーの導入拡大が進む中、従来の系統運用の下で系統制約が顕在化しているほか、調整力の確保や FIT 制度からの自立に向けた事業環境の整備など、新たな政策課題も浮き彫りになってきている。

このため、総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会及び電力・ガス事業分科会の下に「再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会」を設置し、再生可能エネルギーの大量導入とそれを支える次世代電力ネットワークの在り方について、政策対応の具体化に向けた検討を行う。